

令和4（2022）年度

女性の地域活動推進セミナー（女性教育指導者研修）

第1回 実施報告

実施日：令和4（2022）年 7月 19日（火）

女性の地域活動推進セミナー（女性教育指導者研修）の第1回研修は、本県の地域課題の現状と課題に対する取組についての講話、今後の研修の中心となるグループ研究の進め方の説明、そして「地域で活躍するリーダーに求められること」と題しての聖心女子大学の大槻奈巳教授からの講話がありました。

講話「地域の現状と地域課題の解決に向けた本県の取組」

栃木県教育委員会事務局生涯学習課 主幹 吉田 正道 氏

講話の前半では、当センターの「地域課題に関する調査研究」から、「高齢化」や「過疎化」が県民の課題認識の上位に挙がっていることに触れ、それらに起因する問題の一つとして、「地域の人間関係の希薄化」があることが示されました。

後半は、栃木県教育委員会が作成した「地域元気プログラム」についての説明がありました。受講者は、プログラムが作成された背景やプログラムの趣旨について知るとともに、地域コミュニティの大切さについて理解することができました。また、本県のふれあい学習の推進や「親学習プログラム」、とちぎの高校生「じぶん未来学」などについても説明がありました。



講話により、地域についての理解を深め、活動への意欲をさらに高めることができたようです。

説明「グループ研究の進め方」

総合教育センター職員

本日は第1回ということで、受講者の自己紹介やグループ研究の概要説明、グループ編成を行いました。

グループ編成では、事前のグループ研究テーマの希望調査にもとづき、3つのグループに分かれることになりました。これから時間をかけて、テーマに沿った内容について調べたり、グループ内で話し合ったりしながら、研究を進めていきます。



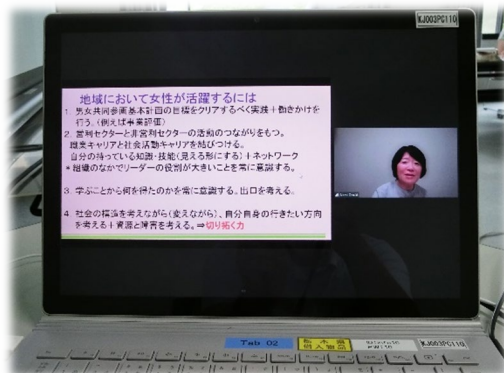
講話「地域で活躍するリーダーに求められること」

聖心女子大学現代教養学部人間関係学科 教授 大槻 奈巳 氏

今回の講話は、Zoom によるリモートで実施しました。大槻氏は、「職業社会学」「労働とジェンダー」を専門としており、男女共同参画の視点から、これからの女性リーダーに求められる知識や考え方についてお話をいただきました。

講話中、NPO 活動者の事例について、各グループごとに分析を行いました。自分が行きたい方向に自分を持っていける力（切り拓く力）やネットワークの重要性、組織の中でリーダーの役割が大きいことを意識していくことが、地域において女性が活躍するために必要であることをなどを考えることができました。

画面越しではありましたが、女性リーダーとして必要な知識や考え方に加え、情熱や前向きさも伝わる非常に有意義な講話でした。



<受講者の感想から>

- 本県地域の抱える課題、現状、取組などを知ることができてよかったし、出会うことがない方々との出会いも今後の研修の楽しみです。
- 日常生活の中にある一つ一つが気づきとなり、学びにつながることに気づきました。
- 切り拓く力の大切さが分かりました。
- 学ぶだけでなく、出口を考える、学びをどう活用するかについて、考えさせられました。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp